

Airflow Analyst Ver.1.5

新機能の紹介

2016.1.15

株式会社 環境GIS研究所



Airflow Analyst Ver1.5 製品仕様

	Airflow Analyst® (Ver1.5)30日無料評価版	Airflow Analyst®製品版 (Ver1.5)
最大格子数	100*100*40	無制限※ 1
ベキ乗則による流入風条件	✓	✓
気象モデルデータ※ 2から 流入境界条件を設定	—	✓
格子生成	✓	✓
風況シミュレーション	✓	✓
透過壁の設定	✓	✓
拡散計算	✓ (Added)	✓
圧力情報の出力	✓ (Added)	✓
結果のアニメーション表示	✓	✓
結果のGISフィーチャへの変換 (Expanded)	✓	✓
CityEngine市街地モデル対応	✓ (Added)	✓
気象モデルデータ※ 2の可視化	✓ (Added)	✓
大気安定度の考慮 (New)	✓	✓
GPU計算※ 3	—	✓ オプション
提供方法	ダウンロード	ダウンロード+ハードウェア キー
動作期間	一ヶ月間のみ起動	期間制限なし (または 期間指定)
言語	日本語版・英語版	
動作環境	ArcGIS for Desktop 10.4 または 10.4.1 Windows10または8.1または8 (64bit版)	

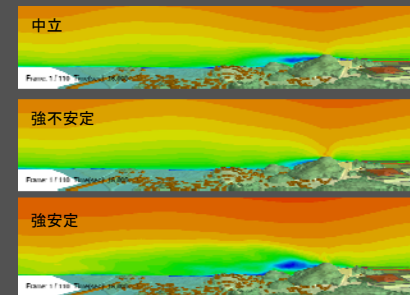
※1 PCのメモリサイズに依存します。

※2 NetCDF形式の気象モデルデータに対応。

※3 GPUマシンの動作保証は弊社指定マシンに限ります。

Airflow Analyst Ver1.5 改良点

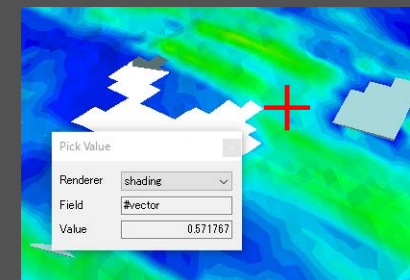
- **動作環境**
 - ArcGIS10.4.xに対応しました。
(10.3以前のバージョンでは動作しません)
- **風況解析機能の拡張**
 - 大気安定度を指定した流れの解析が可能になりました。
 - 気象GPVデータから風速分布を取得し、シミュレーションの境界条件として設定できるようになりました。
- **可視表現の改良**
 - マスク表示に立体効果 (Stereoscopic effect)を追加し、形状を際立つようにしました。
 - 解析結果の格子ポイントとしての可視化法が追加されました。
 - 可視化された結果上でクリックするとその場所の計算結果が取得できる値取得ツール (Pick Value)が追加されました。
 - 可視化結果をShape形式へと出力できる種類が増えました。
- **体験版**
 - 体験版が最新バージョンとなり製品版との機能差が少なくなりました。
- **不具合修正**
 - デシマル区切りにカンマを用いるロケールのOSで、計算が異常終了する問題を解決しました。
 - 多数の不具合修正・パフォーマンス改善がなされました。



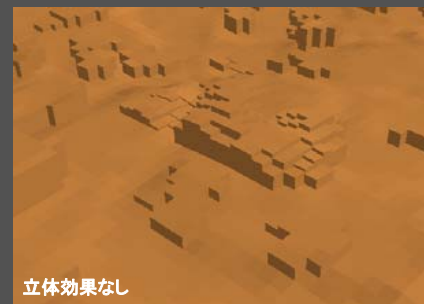
大気安定度の違いによる風況の変化



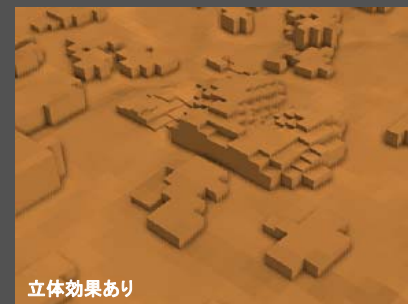
格子ポイントとして計算結果の可視化



任意の地点で数値を確認できる機能

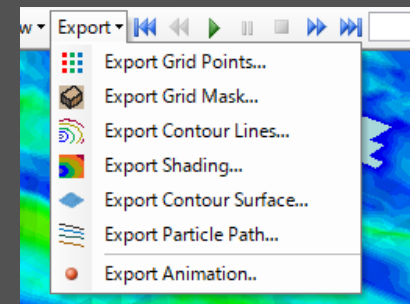


立体効果なし



立体効果あり

マスク表現の立体効果による形状の視認性向上



可視化結果のエクスポート機能